



令和 7 年 3 月
公益財団法人鹿児島県環境整備公社
(エコパークかごしま)

エコパークかごしま連絡協議会について

1月28日(火)に関係自治会や薩摩川内市等で構成するエコパークかごしま連絡協議会を開催し、委員21名に出席していただき、廃棄物の搬入状況や廃棄物の埋立作業の状況、地域振興策の進捗状況について報告を行いました。



廃棄物の受入状況及び埋立状況について

(令和7年1月末現在)

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	165,239	45.20
がれき類(廃石膏ボードを含む)	65,070	17.80
汚泥	38,267	10.47
ばいじん(一般廃棄物を含む)	32,738	8.96
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	32,351	8.85
木くず	15,952	4.36
廃プラスチック	7,829	2.14
13号廃棄物	4,689	1.28
鉱さい	1,781	0.49
動植物性残さ	800	0.22
金属くず	335	0.09
紙くず	298	0.08
繊維くず	190	0.06
合計	365,539	100.00

※小数点以下四捨五入のため合計と一致しません。

平成27年1月の開業から今年1月末までに約36万6千トンの廃棄物を受け入れています。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻(一般廃棄物を含む)、がれき類(廃石膏ボードを含む)、汚泥となっており、この3種類で全体の約4分の3を占めています。

今年度の1月末現在の搬入量は、3万1,875トンです。引き続き搬入量の確保に努めてまいります。

本年1月で10周年を迎え、残りの埋立期間は5年となったところです。

現在、埋立地全8層のうち、第6層目を見学者デッキ下の区画より順次、埋立中です。

引き続き、安心・安全を第一とした施設運営、廃棄物の適正処理に努めてまいります。



道路の除雪作業を行いました!



2月4日の除雪作業の様子



2月5日の除雪作業の様子

令和7年2月4日から降り始めた大雪により、エコパークかごしまの前の県道百次木場茶屋線に10cmを超える積雪がありました。

周辺地域の方々の通行に支障がないよう4日、5日に道路の除雪作業を行いました。

教えて！エコパーク先生！



みなさんこんにちは！
 前は、工場や浄水場などから発生する汚泥を処理する方法の一つである乾燥について勉強しましたね。

水を蒸発させることにより、含水率を下げ、減量化することを目的とした方法だったよね。

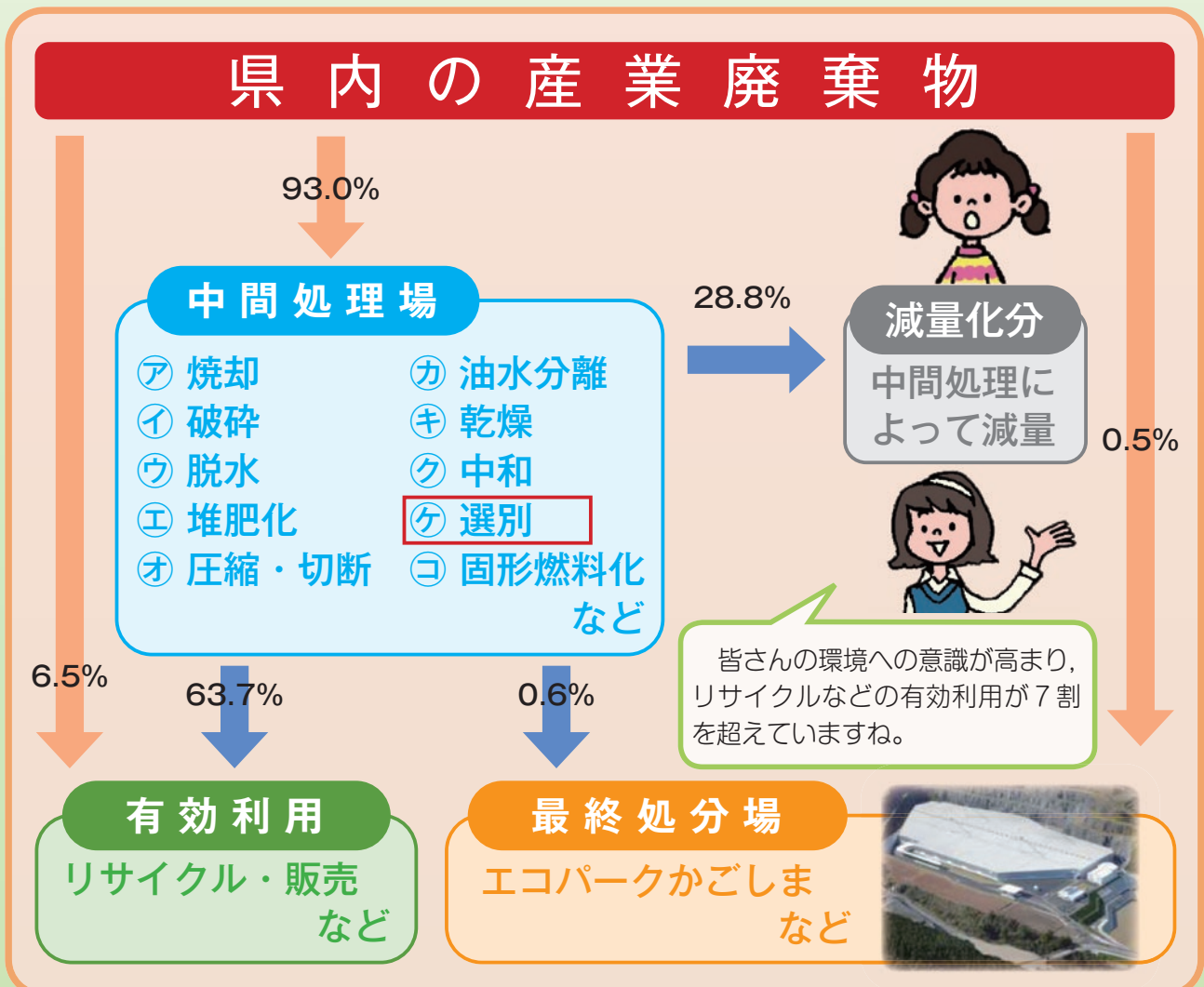


また、工場から排出される廃棄物には、廃酸や廃アルカリもあり、水酸化ナトリウムや塩酸などの薬剤を加えpHを中性近くまで調整するといった方法（㊦中和）で処理がされています。



今回は、㊦選別について勉強していきましょう。

産業廃棄物の流れ





さまざまな種類の廃棄物が混在している場合は、廃棄物ごとに適した処理をするために、選別が行われます。



廃棄物の種類等に応じて、選別するんだね。人の手で分けていく以外に方法はあるのかな。



今回は、その選別の方法について一緒に見ていきましょう。

【ケ】 選別

選別施設では、建設現場等から排出される混合廃棄物を廃棄物の種類や性状ごとに選別します。その後、更にそれぞれに適した中間処理（破碎等）を実施し、リサイクルなどが行われます。



建設現場等から排出される混合廃棄物

選別方法の一例（人の手による選別）



人の手による選別以外に風力選別やふるい選別などもあります。

選別

ガラスくず・コンクリートくず
及び陶磁器くず



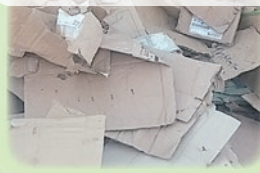
破碎後、
路盤材 など

木くず



破碎後、
木質チップ等の燃料 など

紙くず



固形燃料の原料
など

金属くず



新たな金属材料として
リサイクル など



選別は、リサイクルを進める上で重要な中間処理方法の一つなんだね！

紙くずのところに出てきた固形燃料ってなんだろう。

そうですね。
次回、固形燃料化といった処理について勉強していくので、楽しみにしててね。



排出業者様にお話を伺いました！

ジャパンウエスト株式会社鹿児島事業所 事業所長 谷山 純一郎 様、
工場長 上田 隆志 様にお話を伺いました。



九州・沖縄の様々な（特別管理）産業廃棄物の焼却処分を行っています。「鹿児島事業所 / 谷山臨海工場」

〈事業所紹介〉

「地球と生きる未来を創る」を当社のミッションに掲げ、資源循環型社会をけん引する環境リーディングカンパニーの実現を目指す企業です。

2018年に廃棄物焼却施設を増強し、鹿児島県内の廃棄物処理をはじめ、当社グループが持つ全国規模のネットワーク技術やノウハウによる質の高いワンストップサービスの提供を行い地球環境に配慮した事業を行っています。

鹿児島事業所は県内2工場を保有し、廃棄物の焼却や中和の処理を行っています。様々な廃棄物を取り扱える許可と、ドラム缶のまま安全に処理できる装置やバッチ式燃焼室など多種多様な廃棄物にも対応できる設備を有しており、鹿児島県の廃棄物処理における地産地消に貢献しております。

エコパークかごしま様へは焼却後の燃え殻などを委託しています。いつ訪問しても、整理整頓されており、安全や環境配慮を意識された維持管理、透明性など大変信頼できる施設運用が成されており、スタッフの方々の対応も気持ちがよく、安心できる処分場で大変助かっております。



左：谷山事業所長，右：上田工場長

環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質（地下水及び河川水）の測定を実施しています。

また、毎日の設備点検においても地下水や浸出水等に異常が無いか確認をしています。

これらの調査結果については、これまで同様、異常は認められていません。詳しい調査結果はホームページに掲載しています。



阿茂瀬川の水質調査



勝目川の水質調査

エコパーク周辺の地域振興策について

準用河川阿茂瀬川では、中流域の市道付替工事が完了し、令和6年11月から通行できるようになりました。

中流域の護岸工事は、令和6年度から、順次行っているところです。



市道川永野百次線の旧国道3号から阿茂瀬橋までの区間では、大型車両の迂回路の整備のため、橋梁工事等を行っており、令和7年度の早い段階での完成を目指しています。



☆編集後記☆

エコパークかごしまは、お陰を持ちまして本年1月で10周年を迎えることができました。これまで安心・安全な運営を続けてこられたのも皆様の御理解・御支援のおかげです。

引き続き、地域環境に配慮しながら、廃棄物の適正処理を行い、安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいりますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

問い合わせ先

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町6924番地11
TEL 0996-21-1220
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当会社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) でも閲覧いただけます。